

東京農業大学
第三高等学校
附属中学校

2023



農大三中・三高の使命。
それが農大精神を受け継ぐ、
実りを世界に還す。
実学をもって人を育み、

究理

自分で確かめると納得がいく

本物に触れると体が忘れない

探新

ひとつ知るともっと知りたくなる

プロセスを知るとアイデアが広がる

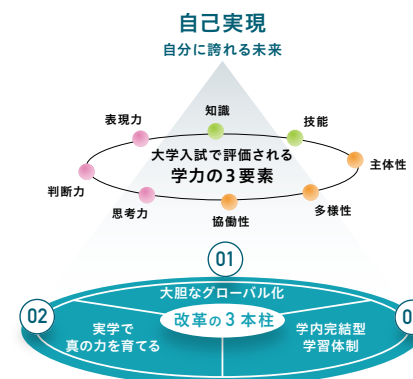
教育理念
不屈 探究 信頼
Indomitability Inquiry Reliability

教育方針
地域社会に貢献し、国際社会で活躍する「21世紀を担う国際人」の育成を目指す

不屈の精神で幕末から維新を駆け抜けた「榎本武揚」が設立し、
明治農学の第一人者「横井時敬」が建学の理念を確立した東京農業大学。
農大スピリットといわれるその教育精神は、実学教育の名のもと、
農大三中・三高の理念として深く息づいています。

「農大三中、次のステージの幕開け」

大学入試の先を見据えた多面的な学校改革で、
一人ひとりにより多くの選択肢を。



農大三中・三高教育改革の3本柱

世界的な視野と高度な英語力を備えた国際人を育成

01 大胆なグローバル化

高度な英語力と世界標準のコミュニケーション能力を身につける、国際教育プログラムを強化。
短・中長期留学はもちろん、海外大学への進学など、より高度な語学ニーズにも対応します。



体験による深い学びが、柔軟な思考力と実践力を育てる

02 実学で真の力を育てる

体験による深い学び「実学教育」を重視する農大三中・三高では、フィールドラーニングや実習などのアクティブラーニングが充実。最新ICT教材を活用したユニークな授業を増やし、柔軟な思考力と実践力を育てます。



自立学習を定着させ、やる気と学力を伸ばす支援体制

03 学内完結型学習体制

学校を軸とした学習で、大学合格に必要な学力が身につくよう、学力定着や入試対策など、さまざまな講座を開講。学習計画からモチベーションアップまできめ細かくサポートします。



大学進学その先へ。
未来を拓き、時代を生き抜く力を育む6年間。

ビジネス市場、技術革新、地球環境。あらゆるものが驚くべきスピードで変化していく現代社会の中で、今後頼りになるのが「世界のどこでも生き抜ける能力」です。農大三中・三高の6年間はまさにそのための育成期間。実学を土台とする多彩な教育プログラムを通じて、自ら考え、行動し、未来を拓く逞しい人材を育てます。



ホームページにて学校紹介と
ホームステイの様子を公開中！

触れて、見て、体験する 実学フィールド [年間行事紹介]	基礎力充実期		応用発展期		進路実現期	
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
目 標	実学的考え方のベースを創る		能動的にキャリアを選択する		大学進学を実現する	
目 的	- 自己を見つめる - 社会と自己の関係について考える - 仕事を知り、生きることの意義を考える		- 大学を知る - 適切な進路選択をする		- 社会貢献意識を高める - 将来へのモチベーションを高める	
概 要	文章を書いたり、自分が住む地域を調べたりしながら、自分自身や自分と社会の関係について考えます。また、職業調べ、職業体験などを通して、仕事や生き方について考えます。		自己理解や職業知識をベースに大学 について調べ、これからの進路を実現させる方法を具体的にイメージします。		大学入試に向けて環境を整え、モチベーションを高めます。さらに、興味のある大学のオープンキャンパスなどを通して、大学進学後を意識します。	
クラス編成	習熟度別授業(数学)		習熟度別クラス		習熟度別クラス 理系(高2から)	
					習熟度別クラス 文系(高2から)	

学 力	実学教育	- 醸造体験 - 博物館研修(国立科学博物館・国立西洋美術館見学) - フィールドラーニング	- 稲作体験 - 畜産体験 - 養殖体験 - 博物館研修(江戸東京博物館見学) - フィールドラーニング	- 体験型修学旅行(北海道/自然観察・農業・水産業体験) - フィールドラーニング	- フィールドラーニング - サマーセミナー	フィールドラーニング
	国際教育	- イングリッシュワークショップ(留学生との交流会) - 英語検定 - 百人一首大会 - 日本文化理解 - オンライン英会話	- グローバルイングリッシュプログラム - 英語検定 - オンライン英会話	- 英語検定 - クイーンズランド州立校 語学研修 - セブ島 語学研修 - オンライン英会話 - デザインプレゼンテーション	- 英語検定 - クイーンズランド州立校 語学研修 - セブ島 語学研修 - アクティブコミュニケーション研修 - 華語講座	- 英語スピーチコンテスト - 英語検定 - 修学旅行(オーストラリア) - クイーンズランド州立校 語学研修 - セブ島 語学研修 - 華語講座
進路選択力	キャリア教育	- 自己理解 - 実学キャリア教育講演会 - プログラミング講座	- 職業体験 - 進路講演 - 実学キャリア教育講演会 - プログラミング講座	- 学部、学科研究 - 進路講演 - 東大模擬ゼミ体験 - 実学キャリア教育講演会 - プログラミング講座	- 文理選択(新書レポート) - 進路講演 - オープンキャンパス - プログラミング講座 - オリエンテーション	- 大学研究(探究レポート) - 進路講演 - オープンキャンパス - プログラミング講座
人間力	人間教育	- オリエンテーション - 教養講座 - 芸術鑑賞・浪漫祭・体育祭 - スリーデーマーチ - 校内マラソン大会 - 合唱コンクール	- 芸術鑑賞 - 浪漫祭 - 体育祭 - スリーデーマーチ - 校内マラソン大会 - 合唱コンクール	- 芸術鑑賞 - 浪漫祭 - 体育祭 - スリーデーマーチ - 校内マラソン大会 - 合唱コンクール	- 芸術鑑賞 - 浪漫祭 - 体育祭 - 球技大会 - 校内マラソン大会	- 芸術鑑賞 - 浪漫祭 - 体育祭 - 球技大会 - 校内マラソン大会



進学実績

志望大学への現役合格

現役進路決定率
96.2%

4年制大学進学率
90.0%

中高一貫教育の集大成！

農大三中・三高の1期から8期の先輩たちが大学入試に臨み、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとする多くの最難関国立・私立大学への現役合格を果たしています。農大三中・三高では、併設大学である東京農業大学・東京情報大学への「推薦入試制度」があり、この制度を利用して進学する生徒も少なくありません。農大・情報大を目指す人にはうれしい制度です。

第1～8期生の主な進学先

国公立大学

東京大学
北海道大学
群馬大学(医学部)
筑波大学(医学部)
防衛医科大学校
東京医科歯科大学
お茶の水女子大学
東北大学

東京工業大学
東京農工大学
東京学芸大学
埼玉大学
宇都宮大学
茨城大学
千葉大学
横浜国立大学

私立大学

早稲田大学
慶應義塾大学
上智大学
東京理科大学
東京農業大学
明治大学

青山学院大学
立教大学
中央大学
法政大学
昭和大学(医学部)
国際基督教大学

6年間の学び ①

中1・2

基礎力充実期

実学的考え方の ベースを創る

学習への興味を広げながら、基礎学力を定着させ、英数国は中学での学習内容をほぼ終えます。同時に、自己を見つめコミュニケーションの土台を形成し、社会と自己の関係を理解します。

「自分の目で見て、考え、実践する」
成長を実感できる機会がたくさん

農大三中の特長は生徒自身で考え、実践する機会が充実していることです。理科の授業では実験の数が多いので、暗記に頼らず、自分の目で確かめて考察する大切さを学びました。論理の時間に書く小論文や英語でのプレゼンテーションなど発表する授業も豊富にあるので、自分に自信を持てるようにもなりました。

中学2年 小山 真凜 さん

学習の下地づくりをサポートし、
生徒たちの自主性を育む

基礎学力の定着には、自分に合った学習方法を確立し、習慣化させることが大切です。中学1・2年次には、学習手帳を使って学習時間、状況を常に把握。面談を通して一人ひとりに合った学習方法を構築していきます。指導ではすぐに答えを教えずに、生徒自らが考えて学ぶ習慣が身につくように、サポートしています。

松吉 杏佳 教諭

少人数・習熟度別授業で
わからない生徒をつくらない

学んだ内容がどの程度身についているのかを確認する「サポートテスト」を、主要5教科(英数国理社)を中心に定期的に実施します。これにより、できなかった部分について集中的な学び直しを行い、「本物の学力」の定着を図ります。また、苦手意識を持ちやすく、理解度にバラつきが発生しやすい数学は、中学1年次から理解度に応じてクラスを分割する、少人数・習熟度別授業を実施しています。「わかる」ことを重視した授業展開で、わからない人をつくらない。これが農大三中・三高の授業です。

教員、保護者と連携して自宅学習までを
トータルサポート

本校には、学校の教育プログラムの一環として、自立学習支援システム(EdOM)が導入されています。EdOMは、Education(教育)・Opportunity(機会)・Motivation(動機)の3つの頭文字をとって名付けられました。全生徒を対象として放課後に学校内で自習室と講習を実施し、自宅に帰ってからも、Zoomをつないで講習や質問対応を実施します。また、定期的に保護者会や面談を実施し、情報を共有します。生徒の目標の実現に向けて、学校・保護者・EdOMの三位一体で学習をサポートします。



6年間の学び ②

中3～高2

応用発展期

能動的に キャリアを選択する

中学の学習内容の定着を図りながら、ほぼ全教科の高校の学習内容を高校2年までに終えます。高校の文理選択後は、自己理解や職業知識をベースに大学を意識した進路実現を考えます。

自分の夢を見つけて、
挑戦を後押ししてくれる環境がある

座学の授業だけではなく、醸造体験やイングリッシュワークショップといった実学的なカリキュラムが豊富にあるので、好奇心や興味の幅を広げることができ、国立大学を目指すという目標を見つけることができました。先生方も全力で後押ししてくれるので、自分の課題に向き合い、積極的に挑戦する習慣が身についたと思います。

中学3年 福田 憩 さん

人生で迷わないために
生徒の決断力を磨く

キャリアを選ぶ上で重要なのは選択力、決断力です。文系・理系の選択や進学先、社会人になると就職、転職など人生では様々な場面で選択を迫られます。その時に、後回しにするのではなく、ベストな決断ができるかどうか。農大三中・三高ではキャリア選択を通して、能動的な思考が身につくように指導をしています。

江田 晃 教諭

ICTによる効率的な授業と
先取り型の濃密カリキュラム

農大三中では、公立中学校3年間分の授業内容を中学2年次までにすべて完了する、内容の濃い独自のカリキュラムを組んでいます。主要3教科(英数国)に関しては、公立中学校の約1.5倍の授業時間を確保しています。もちろん、単に授業数を増やして詰め込むだけの学習にならないよう、さまざまな工夫をしています。その一例が、電子黒板やタブレット端末によるICT教育です。板書時間を節約し演習時間に充てたり、生徒の解答状況を瞬時に把握したりすることにより、理解度に合った質の高い授業を展開しています。

実学教育に基づく英語教育で
大学入学後も使える英語力を

大学での研究や実社会で「使える英語」として磨きをかけるのが、高校3年間の英語教育です。高校2年次のオーストラリア修学旅行では、数班に分かれ農場に滞在するファームステイを実施します。現地では英語による日常のコミュニケーションを、生徒全員が体験します。帰国後は、英語スピーチコンテストを実施するほか、近年大学入試で導入が加速する英語検定やGTEC等の外部検定でのハイスコアを目指し、ネイティブによる徹底した指導で4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図ります。

難関大受験への意欲を高める
1日10時間のサマーセミナー

高校1年生を対象に実施されるサマーセミナーは、難関大学レベルの講習や自学自習を中心に、1日10時間の学習に打ち込む夏の勉強合宿(希望生徒対象)です。事前指導として東京大学の学生をアドバイザーに迎え、東大生と農大三高生のノートづくりを比較したり、高校時代の学習スタイルについてディスカッションを行ったりするなど、学習意欲を十分に高めてから行われます。また、宿泊先が茨城県つくば市であることから、筑波大学の見学も実施します。

大学進学を 実現する

オープンキャンパスなどを通し、進学後をイメージすることでモチベーションを高めます。大学入試問題演習を早期より展開し、知識と思考力に磨きをかけ、目標大学への現役合格を目指します。

最高の仲間、恩師に支えられて、
6年間楽しく成長できる

中高一貫教育のため、授業の進度は早いですが、充実のバックアップ体制で志望大学を目指した勉強に集中できます。また、6年間を通じてコミュニケーション能力や自分の考えを論理的に伝える力を養うこともできました。なにより、最高の仲間、親身にサポートしてくださる先生方と出会えたことが一生の宝です。

高校3年 鰐淵 瑛梨 さん

受験期の生徒を支えるモットーは
「よき伴走者であれ」

進路実現のためには、ゴールに向かって正しい努力を積み重ねることが大切です。そのためにまずは志望校を定め、合格までにやるべきことを、生徒自身で明確にするように指導。そして目標達成に向けて全力でサポートします。受験期は不安も大きいものです。生徒たちが勇気を持てるように、「伴走者」として一緒に歩むことを心がけています。

篠塚 健一 教諭

多種多様な課外講座(無料)で
希望進路の実現を全力サポート

農大三中・三高では、6年間を通じて無料で受講できる課外講座を豊富に用意しています。高校1・2年次は各教科の基礎的復習と受験に向けた発展的演習を中心に行い、高校3年次は難関国公立・私立大学対策、重要単元復習を中心とした多種多様な講座を開講しています。特に高校3年次は、放課後・夏期・冬期講習に加え、小論文指導や入試直前講習(12月)など、より実践的で効果的な、大学受験を意識した指導を行うなど、生徒全員の希望進路実現に向けた強力なサポート体制を組んでいます。

高大連携によるキャリア教育で
ミスマッチのない進路を実現

高校3年間で、高大連携によるキャリア教育を継続して行います。進路講演では、併設大学の東京農業大学をはじめ、さまざまな大学の学部・学科の説明会を実施します。自分が学びたい学問や、将来就きたい職業のために、進むべき学部・学科を調べ、夏休みのオープンキャンパスにつなげます。希望する大学に実際に足を運び、オープンキャンパスでの模擬授業などの体験を通して、大学受験に向けてのイメージや目標を具体化させ、モチベーションを高めています。

大学合格後へのリアルな想いを
入試を勝ち抜く大きな力に

厳しい大学入試を耐え抜き、勝利を手にするためには「この大学のこの学部で学びたい」という強い思いが必要不可欠です。農大三中・三高では、追い込み期となる高校3年の夏を前に、卒業生による「進路報告会」と30を超える大学の講師たちによる「進路ガイダンス」を実施します。勉強と部活動の両立、模試の活用法や勉強法など、合格者が語るリアルな体験から受験に向けた心構えを学びます。さらに、進路ガイダンスで大学合格後のビジョンを明確化することにより、大学受験へのモチベーションを高めます。

難関大学合格者メッセージ



多くの学びがある実学教育を経て
人間として大きく成長できた

将来は食品関係の職に就きたいと思い、豊富な実験・実習のできる農大三中に入学。その実学教育を通して、多くのことを学びました。ダイズ栽培で、毎日ダイズの世話をすることで、小さな変化にも気づける観察眼を養うことができました。また、体験を通して得たことをプレゼンテーションする機会も多く、コミュニケーション能力や自分の考えを論理的に発表する力も身につきました。大学生となった今振り返ると、社会でも必要なこれらの力を中学・高校生の段階で学べるのはとても貴重なことだと思います。

宇都宮大学 農学部 応用生命化学科 1年
福田 心 さん(2021年度卒)

小学生の頃から食品関連分野に興味があり、2016年に東京農業大学第三高等学校附属中学校に入学。ダイズ栽培や北海道での水産加工体験を経て、食の素晴らしさを実感。食品についてより深く学びたいと考え、宇都宮大学の農学部に進学。将来の夢は、食品を通して人を支えること。

先生とクラスメイトに支えられて
楽しく学んだ6年間はかけがえのない宝物

農大三中の魅力の一つにアクティブラーニングがあります。座学では得られない経験ができるのはもちろん、興味の幅が広がり、自分の可能性が広がっていくのを実感できました。私は様々な体験学習を通して、子供の頃から興味があった地球環境分野を学問として突き詰めたいという思いが芽生え、進路を決めました。少人数体制のため、先生やクラスメイトとの距離が近く、絆も深まります。この学校で楽しくのびと学んだ6年間はかけがえのない宝物です。

筑波大学 生命環境学群 地球学類 1年
中村 浩康 さん(2021年度卒)

2016年、東京農業大学第三高等学校附属中学校に入学。小学生の時、授業で地球温暖化について考えたことがきっかけで、環境問題に興味を持つように。3年次からの専門課程では、人間の社会生活と地球環境の関連を学ぶ人文地理学を専攻しようと考えている。

難関大W合格を果たした卒業生

高校1年生の時に、東京大学と防衛医科大学校の2つの難関大学合格の目標をかかげ、見事に達成した金井さん。現在は、幼い頃からの目標である医師を目指して、防衛医科大学校病院で実習生として学んでいます。そんな彼に農大三中・三高で培った、学ぶ姿勢について話を伺いました。

ニュージーランドでの語学研修で養った
「聞く力」が大きな武器に

農大三中での一番の思い出は、3年次に参加したニュージーランドでの語学研修(令和5年度はクイーンズランド州立校語学研修)です。ホームステイをして地元の高校に2週間通うのですが、最初は英語での授業に全くついていけませんでした。分からないことが悔しかったので、つたない英語で質問すると現地の人々がやさしく答えてくれたのを覚えています。このことがきっかけで、積極的に質問することの重要性に気づきました。分かるまで聞くのは、受験勉強でも大切なことです。どんな質問にも親身に答えてくれた先生方にはとても感謝しています。

防衛医科大学校 医学部 医学科 5年
金井 勇樹 さん(2017年度卒)

小学生の時に看護師である母親の影響で、医師の道を志す。少人数体制と手厚い学習サポートに魅力を感じ、2012年に東京農業大学第三高等学校附属中学校に入学。東京大学とW合格した防衛医科大学校に進学し、現在は患者に信頼される医師を目指し、病院実習を行っている。

実学教育

学びの礎となる「自ら学ぶ力」を育む、
農大三中・三高の
アクティブラーニング

実学教育は、学びを深め成長に導く「自ら学ぶ力」を育むための、農大三中・三高ならではのアクティブラーニングです。フィールドラーニング・醸造・養殖といった、五感を使った体験型学習の機会を数多く取り入れています。また、学ぶテーマや授業スタイルに合わせ、電子黒板やタブレット端末などのICT教材を積極的に活用します。学ぶことへの関心・意欲を高め、柔軟な思考力と実践力を育てています。



しました。

棚澤 福井さんはどうですか？

福井 一番印象に残っているのは、中学2年次に行ったヒラメの養殖体験です。

棚澤 養殖体験は、稚魚から成魚になるまでお話をし、生態観察を行うものですね。その体験を通して、気づいたことはありますか？

福井 養殖体験の最後にヒラメを自分たちで食べるのですが、目の前でさばかれているのを見た時に初めて、育てた命を奪う経験をし、命をいただくことの尊さを知りました。

西村 私も養殖体験を経て、作ってくれた人や自分の糧になってくれるものたちの命に対して、「いただきます」と手を合わせて心から感謝するようになりました。

棚澤 知識だけでなく経験することで、食と命の大切さを深く知ることができたというのは、とても貴重なことだと思います。

ICT教材の利用で深まる理解

福井 アクティブラーニングとは少し異なるかもしれないのですが、タブレット端末を使うことで、普段の授業でも体験に近いことができています。

西村 私もそれは感じています。理科の授業で、心臓の動きを観察した際に、場所によって心臓の動き方が異なることが分かりやすかったです。タブレット端末は、動画や図を見られるので、構造などがイメージしやすいですね。

福井 先生が電子黒板の画像や動画に直接ポイントを書き込んでくれるので、イメージが湧いて記憶に残りやすいというメリットもあると思います。

棚澤 図を描くのが苦手な生徒もいますね。一人ひとりが学びやすい方法で、学習できることが一番です。

プレゼンテーションを通して論理的思考と発表力も養われる

棚澤 体験で得た気づきをプレゼンテーションする機会も多いですが、慣れましたか？

福井 自分でイチから考えて、情報をまとめることの難しさを痛感しました。

西村 初めてのプレゼンではすごく緊張しました。

福井 プレゼンでは事前準備が大切だと思い、質問を予想して答える練習もしています。想定通りの質問が来たときは嬉しかったです。

西村 そこまで考えて準備をしているの？（笑）私はクラス委員長をしているのですが、プレゼンを通してクラスメイトに説明するときなど、発表にも自信を持てるようになりました。

棚澤 実学教育を通して2人の成長が感じられて、とても嬉しいですね。これからも、自ら積極的に学んでいってください。



ダイズ栽培／醸造体験

理科実験の基本姿勢が身につく ダイズ栽培から始める味噌づくり体験

屋上菜園での土壌整備に始まる「ダイズ栽培」と、自ら育てたダイズで行う「味噌づくり」は、「探究心」を育む実学教育の代表的な取り組みのひとつです。理科の学習と連動しながらのダイズ栽培では、比較栽培を行い、生育の違いを観察・検証することで、仮説検証のサイクルや、観察の大切さを学習します。また、味噌づくりを行う東京農工大学の研究室では、麹の種類や醸造のしくみについて大学教授から学びます。



養殖体験

ヒラメを自ら育てる養殖体験を通じて 「命」や「食」の意味について深く考える

中学2年次を実施している「ヒラメの養殖体験」は、ヒラメを育てることを通じて、日本が抱える「食」の課題や「命」の大切さへの理解を深めることを目的としたプログラムです。NPO日本養殖振興会代表理事の指導のもと、5つの約束（①みんなで、②協力する、③考える、④行動する、⑤命を大切にする）を生徒たちと交わり、養殖をスタートさせます。ヒラメの生態調査レポートを作成しながら、日々成長する魚の命に関わります。さらに、成長したヒラメを自分たちで食べることで、命の大切さと食の意味について考えます。



論理的思考力／プレゼンテーション

グローバル社会での活躍に欠かせない 論理的な思考力と表現力を鍛える

農大三中ではアクティブラーニングの一環として、国語の授業で導入される特設カリキュラム「論理の時間」をはじめ、主体的・対話的で深い学びとなる授業の実践に取り組んでいます。自ら課題を持ち、解決方法を考え、議論しながら学習する中で、確かな知識や技能を身につけることができます。こうした「実学」のもとで、プレゼンテーション能力に収れんする学びを通して、論理的思考力・表現力を高めます。



体験型修学旅行（北海道）

農大三中の実学教育の集大成は 学びと感動に満ちた体験型修学旅行

中学3年で実施する北海道修学旅行は、「体験型」である点が大きな特長です。世界自然遺産でもある知床半島を含む道東の大自然のもと、東京農工大学の北海道オホーツクキャンパス（網走市）の見学にはじまり、水産加工体験（新巻き鮭づくり）、北海道開拓の歴史や先住民族であるアイヌの文化に触れるなど、実学教育の集大成にふさわしい最高の学びと感動がここにあります。



※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2～4年度は実施しておりません

国際教育

「高い英語力」と「考える力」を使いこなせる、
骨太な国際人を目指して

多くの日本人が世界で活躍し、自己実現の場が国境を越えて広がる中、国際社会で求められるのは、英語を使いこなす高度なコミュニケーション能力です。農大三中・三高では、自分の国の伝統や文化を理解し、グローバルな視野を育てる多文化交流体験に加え、英語劇やプレゼンテーションといった実践の機会を数多く設けています。英語による表現力を磨き自信を深めます。



高校2年
松井 花恋 さん

中学3年
粟本 真生 さん



海外語学研修や「グローバルイングリッシュプログラム」など、様々なカリキュラムがある農大三中・三高。英語を用いた高度なコミュニケーション能力を備えた、世界に羽ばたく国際人育成に取り組んでいます。実際に研修に参加した生徒に、現場で感じたことを伺いました。

国際交流を通して、
日本文化をより深く理解できる

阿部 佑太 教諭（以下、阿部） 本校では国際交流の前に、まずは日本の文化を知ることから始まりますよね。2人はどのような体験をしましたか？

粟本 私は、華道の授業を受けました。体験する前は、その人のセンスで花を生けていくものだと思っていたのですが、流儀に則った生け方があることを知って、とても驚きました。

阿部 日本人である私たちが、自国の文化を実際に体験するのは、色々な気づきがあるので、とても大切なことですね。

粟本 華道を通して、海外の文化と比べると、日本文化は厳格さと繊細さが共存したものだと感じるこ

とができました。

松井 私のクラスでは、Web会議ツールを使って台湾の学生と英語で交流をしています。お互いの文化を紹介したり、日常生活について質問し合ったりしています。その時に、日本文化の素晴らしさを再発見することもあって、とても楽しいです。

粟本 日本の文化を学ぶからこそ海外の人と深く文化交流がで

きるし、海外の文化との違いを具体的に知ることができるから、面白いですよ。

松井 台湾の友達に日本の若者文化を教えると、台湾の曲をギターで弾いて紹介してくれたりして、授業以外でも普段から頻繁にインターネットで連絡を取り合っていますよ。

阿部 海外の人と交流をする時は、自分が日本文化の鏡になりますからね。国際交流の前に、自国文化を学ぶ重要性に気づけたと思います。

日常では得られない貴重な体験学習

阿部 「グローバルイングリッシュプログラム」は、10カ国を超える多国籍の方々と英語を使って交流を深めることができるとあって、人気の研修です。参加した時の感想を聞かせてください。

松井 校内で3日間行うのですが、研修前に、日本語は禁止だと聞かされて、行前緊張していたのを覚えています。

阿部 英語で会話することはもちろんですが、英語でのプレゼンテーションなど色々なことをするのが特徴ですね。

松井 でも実際に参加したらすごく楽しくて、さまざまな外国の方からどんどん英語で話しかけてくれて…気が付けば自分のことを英語で全部さらけかけていました（笑）

粟本 初対面の日本人同士だと、どこか話しかけづらい雰囲気があるのですが、相手が外国人だと、不思議と積極的に話すことができて…外国人にはウェルカムオーラがあるのかなと思いました（笑）

阿部 その経験は自分にどんな影響を与えましたか？

粟本 元々人と話すことが得意ではなかったのですが、人とさまざまな話をする楽しみに気づきました。間違いなくコミュニケーション能力がついたと思います。

松井 私はこれまで海外の人に道を聞かれたり、写真を撮ってほしいと言われたりしたら、断ってしまっていたのですが、今ではフランクに話せるようになりました。大学に行ったら留学してもっとさまざまな経験をして、将来は教師になって、子供たちに還元したいと思っています。

阿部 国際教育を通して英語力だけでなく、日本文化の再発見やコミュニケーションスキルなど様々な面で成長を実感できたというお話が聞けて良かったです。これからもグローバルに視野を広げて学んでいってほしいと思います。



日本文化理解／異文化理解（中1）

日本を知り、世界を知る
グローバルな視野を育む2つの視点

「日本文化理解プログラム」では、華道や百人一首などを組み込み、日本の文化に触れて、日本人としての誇りを培います。日本との違いを肌で学ぶ「異文化理解プログラム」では、国内滞在の留学生との3日間の交流会（「イングリッシュワークショップ」）を校内で実施します。世界と日本の2つの視点に立った国際教育で、国際社会の一員としての自覚とグローバルな視野を育てます。

グローバルイングリッシュプログラム（中2）

語学研修による多文化交流で
世界基準のコミュニケーションを実践

中学2年で3日間にわたって行われるグローバルイングリッシュプログラムは、多国籍の人と文化が共生するグローバル社会に必要な「世界基準のコミュニケーション」を体験する語学研修です。10カ国を超える多国籍の方々と共通語である英語を使いながら、プレゼンテーションや博物館への来訪などを通じて、交流を深めていきます。「簡単な英語でもこんなに伝わるんだ！」という感覚をつかむことで、英語を学ぶ意欲につなげていきます。

海外語学研修（希望者対象：中3～高2）

長期留学と同じ環境を体験する
クイーンズランド州立校・セブ島の
語学研修スタディーツアー

〈クイーンズランド州立校語学研修〉

午前は英語レッスン、午後は現地校での授業で、リアルな海外生活を体験。現地校の生徒が「スクールバディ」と呼ばれるペアとなり、授業をサポートしてくれます。

〈セブ島語学研修〉

1日最大10時間、マンツーマンレッスン中心の英語漬けの生活に身をおき、徹底的に英語力を鍛えます。英語力に自信のない生徒でも、飛躍的に英語スキルを伸ばせるプログラムです。

使える英語を目指す教育／受信と発信

発表を通じて英語による表現力を高め
「話す」から「伝わる」英語へ

国際社会で通用する英語力は、知識・技能の習得に加え、豊かな表現力・発信力が必要です。農大三中・三高では「Zoom」によるマンツーマン英語学習「オンライン英会話」を導入し、英語の受信力・発信力を鍛えるほか、英語による発表の機会を多く用意。その代表となる文化祭「浪漫祭」では、英会話や英語劇、デザインプレゼンテーションなど各学年のレベルに応じた内容で、実践を通じて表現力に磨きをかけていきます。



キャリア教育

可能性を広げ、自ら考え、
選ぶ力を養う、
実践を重視したキャリア教育

興味を持った大学や職業など自分の将来について考え、その実現方法について、自ら調べ、さらに関心を高め、深く理解します。農大三中・三高では、生徒が主体的・能動的に進路選択ができるよう、キャリア教育にも実学教育を取り入れています。また、実学キャリア教育講演会や進路講演・職業体験など、多彩なプログラムを通じて「働く自分」について考えていきます。



農大三中・三高では、生徒自身の将来の夢や目標を明確にするために、キャリア教育に力を入れています。学年ごとに進路相談を行い、生徒が主体的かつ能動的にキャリアの選択ができるようにサポートしています。2人の生徒に、思い描いているビジョンを聞きました。

生徒の視野と可能性を広げ、
将来の夢を見つける体験学習

佐藤 茜 教諭(以下、佐藤) 2人もキャリア教育を経験していると思いますが、将来の夢や目標は決まりましたか？

肥山 私は植物の遺伝子解析や、ゲノム編集などに興味があるので、そういった技術を駆使して、農作物の増産に貢献できるような研究者になりたいと思っています。そのため、大学の農学部に進みたいと考えています。

佐藤 素晴らしい夢だと思います。進路を決めるにあたって、何かきっかけはありましたか？

肥山 中学生の時のダイズ栽培や稲作体験などを経て、農業を身近に感じるようになったことがきっかけです。

けです。その際、農業の素晴らしさを実感したと同時に、農業を通じて人の役に立てるようになりたいと思いました。

佐藤 なるほど。本校の実学教育が将来の道を考えるきっかけになったというのは、嬉しいですね。ところで研究者になろうと決めたのは何故ですか？

肥山 中学時代に科学部に入学して、活動の一環で、新書を読んで発表する機会がありました。その時に遺伝子に関係する本を読んで面白さに気づき、自分なりに色々調べてみた結果、大学で研究したいという思いが強くなりました。そこで先生と相談して、研究者への道を志したのです。

佐藤 肥山さんは中学時代から明確な目標を持っていたということですが、現在中学生の桑原さんは、どうですか？

桑原 私は、社会科の先生になりたいと思っています。歴史の授業が大好きなことで、農大三中に入って、プレゼンや自分の考えを伝えることの楽しさを学んだので、それが両立できる仕事を考えたときに、自然と頭に浮かびました。

なりたい自分を見つけられる
キャリア教育

佐藤 2人とも明確なビジョンがあるということで、とても感心しました。自分の進路を考える上で、キャリア教育の授業は役に立ちましたか？

肥山 まず、中学1年生では「自分史」といって、親や友人に自分のことを聞いて、自分はどんな人

間であるかを自己分析することから始まりますよね。その時に、自分の知らなかった自分を見つけた気がして、なんだかちょっと嬉しくなったのを覚えています。

桑原 自分の思う自分像と他人からの見え方って異なるんですね。「自分史」を通して、自分を見つめ直すきっかけになって、本当にやりたいことは何だろうと、考えるようになりました。また、大学生や社会人の先輩方が来られる講演会もあるので、自分の得意分野を活かせる仕事の選択肢が広がられるのはありがたいです。

肥山 その講演会で、農学部と言っても大学ごとの特色があることを知りました。揃っている実験機器も異なると聞いて、それぞれの大学にどれだけの実験環境が整っているのかを先生と調べたりもしました。

桑原 先生は、生徒一人ひとりの特性を見抜いてアドバイスをしてくれるので、とても心強いです。

佐藤 本からヒントを得たり、大人の話にアンテナを張ったりして、自分の視野を広げる。そこから自分の好きなことを見つけて、突き詰めていく。天職に出会えるのは30歳、40歳かもしれませんが、2人には自分がやりたい仕事と出会えるまで、考え続けていってほしいと思います。



キャリアデザインプログラム

実学を取り入れたプログラムで
理想の実現に必要な力を習得

中学1年では、自分史の作成、エゴグラム診断などをベースに自分と向き合うことからスタートします。中学2年では、職業調べや職業体験により職業理解を深めます。中学3年では、自らのライフプランを意識しながら大学を調べ、東大での模擬ゼミ体験などを通して学問研究を進め、高校1・2年の間に、高校3年での自己実現につながる適切な進路を選択していきます。理想の実現に必要な力を、6年間をかけてじっくり養います。

中1・中2
実学的考え方のベースを作る ●自己理解 ●実学キャリア教育講演会・進路講演 ●職業体験
中3・高1・高2
能動的にキャリアを選択する ●学部・学科研究 ●実学キャリア教育講演会・進路講演 ●東大模擬ゼミ体験 ●文理選択 ●オープンキャンパス ●大学研究
高3
大学進学を実現する ●進路研究 ●進路講演 ●オープンキャンパス

進路サポート

担任教員と進路指導部の情報連携で
一人ひとりをきめ細かくサポート

キャリア教育の拠点となる進路指導部では、中学校から生徒一人ひとりのあらゆる情報を担任教員と共有し、「目指す目標に必要な学問は何か、どこで学べるのか」といった進路への質問から生活面や学習面での相談まで、きめ細かくサポートします。高校進学後は、充実した授業に加え、放課後・夏期・冬期講習、共通テスト対策指導などを行い、「現役での大学合格」の実現に向けて生徒の要望に応えます。

実学キャリア教育講演会・進路講演

進路ステップに合わせたテーマで
6年間を通して豊富な講演を実施

6年間を通して多くの講演が行われるのも、農大三中・三高のキャリア教育の特長です。中学1・2年では、人間について考えを深める内容、中学3年から高校2年では、大学生や社会で活躍する卒業生を講師に迎えての講演、高校3年ではさらに視野を広げる内容といったように、進路ステップに合わせ多彩な講演を実施します。高い志を持ち活躍する多くの方々の講演は、豊かな可能性に気づきを与え、進路選択の道標となります。



人間教育

世界を視野に多様な社会を生き抜く、
豊かな感性と
逞しい人間力を

「なれる未来」ではなく「なりたい未来」をつかむには、その地図となる10年、20年先の明確なビジョンを描く「創造力」、それを実現する力強い「人間力」が必要です。農大三中・三高では、学校行事をはじめ、芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育や実践ワークを通じて、国際人にふさわしい品格、他者を理解・尊重し協働できる力を養い、多様な社会を生き抜く人材を育成します。



志望大学への現役合格を目指して学力向上のカリキュラムを組む一方で、学校行事やクラブ活動といった情操教育も推進し、多様な社会を生き抜くための人間形成にも力を入れています。ここでは、クラブに入学している生徒に人間教育の観点から話を聞きました。

教室にいる時とまた違った自分を見つけれれるクラブ活動

渡邊 俊希 教諭(以下、渡邊) 宮崎君は中学の野球部に所属していますが、クラブ活動を通して成長を実感したことはありますか？

宮崎 顧問の先生や先輩といった目上の方たちとコミュニケーションを取る際の話し方や礼儀の大切さを学ぶことができました。入学当初は挨拶が苦手だったのですが、今では練習中だけでなく、通りがかった先生や先輩に積極的に挨拶できるようになりました。

渡邊 確かに最近よく挨拶してくれるなと思っていましたよ。チームではキャプテンを務めていますが、引っ張る立場としてもコミュニケーション

は大切ですね？

宮崎 人をまとめる上で、大きい声でハキハキと喋ることが大切だと思います。後輩に対しても相手の立場に立って、しっかりと意思を伝えることで、チーム一丸となって同じ方向を向けると思います。

渡邊 入学時と比べてたくましくなって、私も嬉しいですよ。川上君は中学時代から陸上部

で活躍していますが、中学と高校のクラブ活動で、変わったことはありますか？

川上 高校1年生の頃は、練習メニューを全てこなすことができず、高い壁を感じました。そこで、食事や睡眠を見直そうと思い、自己管理に目を向けるようになりました。すると、体力も徐々についてきて、今では毎日20キロを楽しく走れるようになりました。

渡邊 すごいですね！ 高校の陸上部は全国大会出場を目標にしているから、練習量も多いと思いますが、活躍を期待していますよ。

勉強との両立を図ることで自分と向き合うきっかけになる

渡邊 クラブ活動を通して、人間力の面で成長していると思いますが、勉強との両立はいかがですか？

宮崎 正直かなり大変です。練習で疲れていると、勉強に身が入らないこともあるので、試験日から逆算して予め学習スケジュールを組んで、最低でもそれだけはこなすようにしています。

川上 私は受験も控えているので、勉強を疎かにす

ることはできません。しかし、ランナーの場合、睡眠時間を多く取らないと翌日の練習でバテしまうので、睡眠時間を勉強時間に充てることはできません。**宮崎** では、どのように勉強しているのですか？
川上 勉強する時間を決めると、その時間疲れていて集中できなくても、時間が過ぎたら勉強した気になって終わる、というのを避けるために、いつでもいいから1日に最低何時間だけは勉強するということだけを決めています。クラブ活動の疲れをリフレッシュしたら、短時間で質の高い勉強をするというように考え方を少し変えるだけで、勉強がはかどるようになりました。

渡邊 運動系クラブは日によって疲労度合いも変わるので、自分に合った両立方法を見つけるのが大切ですね。

川上 練習に疲れて、夜勉強するのが嫌になる時もありますが、それも陸上の練習の内だと思うようにしています。

宮崎 私もその考え方を見習って、高校に進学しても勉強する習慣を継続していきたいと思いました。

渡邊 2人とも中学入学当時からよく見てきましたが、成長が感じられて、本当に嬉しいです。志望校合格へ向けてこれからも、クラブ活動と勉強の両方を頑張ってくださいね。



グループコミュニケーション

他者への配慮や思いやりを育成する
グループコミュニケーション型の
ホームルーム活動

ホームルーム活動では「グループコミュニケーション」という人間関係づくりのトレーニングを行います。これは、あるテーマについて「自分で考える→グループで話す→プレゼンテーションをする」という流れをワークで実践するというものです。共同作業の喜びや連帯感を体感することで、他者への配慮や思いやりを育成します。また、1つの物事を多角的に捉えて考える訓練にもなり、柔軟な思考も身につきます。

情操教育／クラブ活動

十代のみずみずしい感性と創造力を磨き
仲間と切磋琢磨しながら自己を研鑽する

農大三中・三高では、狂言や講談といった古典芸能、演劇、ミュージカルなど、一流の芸術に触れる芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育にも力を入れています。質の高い本物の芸術で十代のみずみずしい感性と創造力を磨き、仲間と協力し切磋琢磨し合うクラブ活動に打ち込むことで自己を研鑽する。五感のすべてで感じるさまざまな体験を通じて、国際人にふさわしい品格と豊かな人間性の土台を築きます。

学校行事

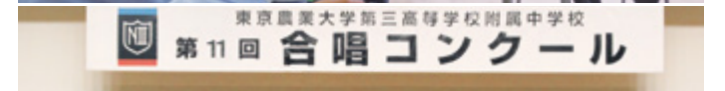
実学教育で培った自ら学び考える力で
全生徒が一致団結して目標に取り組む

学校生活を華やかに彩る学校行事の数々。農大三中・三高ではそのすべてを学習の舞台とし、生徒が主体となり自ら作り上げていくプロセスから多くのことを学びます。生徒全員が一致団結してアイデアを出し合う、文化祭「浪漫祭」での展示やプレゼンテーション、体育祭での上級生から下級生へのパフォーマンス指導など、中学1年から高校3年までの全生徒が深く交流しながら、人として大きく成長していきます。

スクールランチ

生きる基本である「食」から学ぶ
命を育てる真摯な姿勢と感謝の心

生きる基本である「食」からの学びを大切にする農大三中・三高では、中学3年間、管理栄養士による栄養バランスのとれたスクールランチが、各クラスの教室で提供されます。また、中1の屋上菜園におけるダイズ栽培、中2のヒラメの養殖など、自らの手で育てた農水産物を食し、味わいます。こうした貴重な体験を通して、命の大切さや食べ物のありがたさを学び、人間教育の礎となる感謝の心を培います。





向上心を持ち仲間とともに挑む、 活気あふれる姿がここにあります。

農大三中のクラブ活動は、あくまでも生徒が主体。自分たちで考え、行動し、友人と協力して互いを高め合う。そのプロセスもまた、実学そのものです。前に進むために、さらなる高みを目指すために、知恵と技を結集した結果、たくさんの喜びを共有しています。



科学部



サッカー部



バスケットボール部



オリエンテーリング部



陸上部



野球部



吹奏楽部

COMMENT クラブからひと言！

野球部

野球は日常の取り組みがダイレクトに結果に表れます。この点を常に意識し、日々の学校生活を大切に過ごしています。また、仲間を思いやる気持ちを大切に、“試合で勝つ”という目標に向かい、全力で練習に励んでいます。

陸上競技部

週3回の活動日の中で、少しでも速く走れるよう頑張っています。高校生との練習はとても刺激的で、心身共に厳しく鍛えられています。楽な部活動ではないですが、先輩・後輩関係なく本当に仲の良い賑やかな部活動です。

サッカー部

技術や戦術はもちろんのこと、努力することの大切さ、戦う気持ち、礼儀などにも重点をおいて日々の練習に励んでいます。まだまだ発展途上のチームですが、メンバー全員が気持ちをひとつにして頑張っています。

バスケットボール部

バスケットボール部は現在、男女一緒に活動しています。生徒のほとんどが初心者から始めますが、技術だけでなく礼儀を身につけて、体力や精神力を鍛え、人として成長し勝利を掴みとることを目標に、日々練習に励んでいます。

吹奏楽部

楽器未経験者が多い中、入学式・卒業式などの式典や体育祭・文化祭、そして高校生と合同で開催する定期演奏会に出演するために、日々練習に励んでいます。吹奏楽部でしか味わえない楽しみがたくさん待っています。



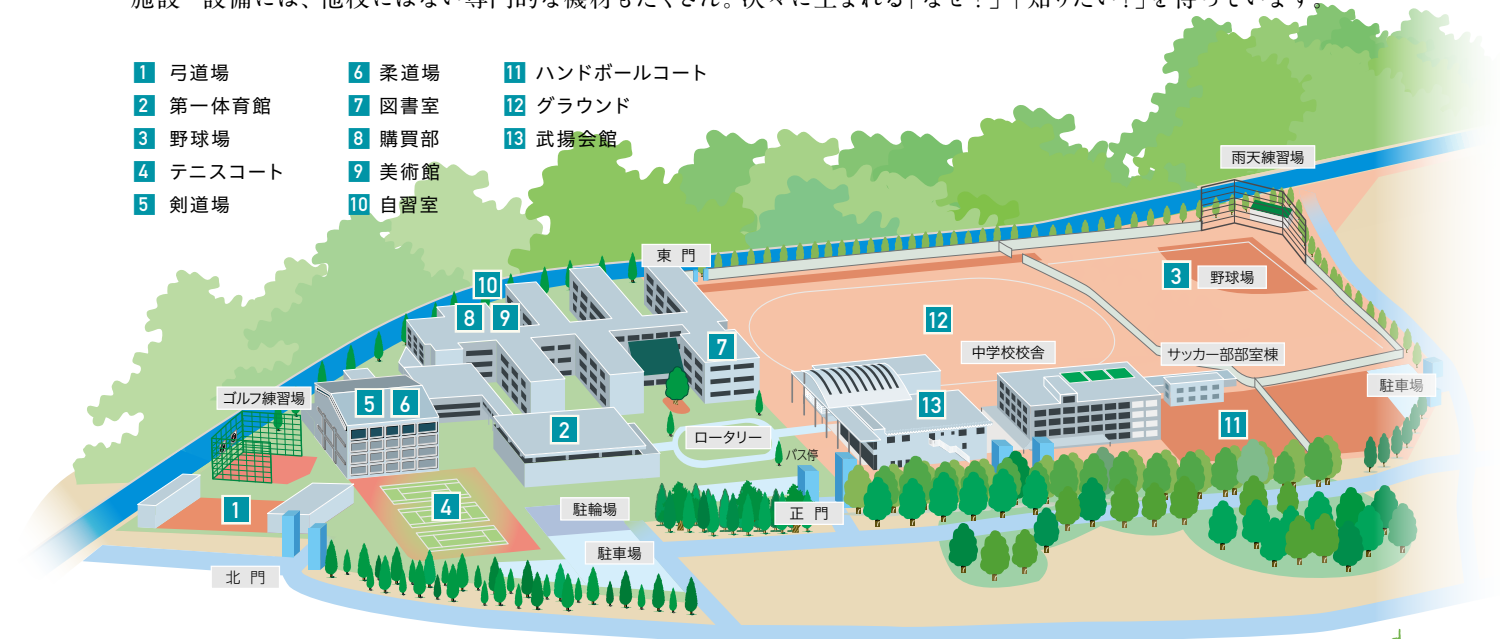
自然を全身で感じられる広大なキャンパスで、 のびのびと成長できる6年間。



ホームページにて各施設の
360°パノラマビューを公開中！

埼玉県東松山市に位置する農大三中・三高。

四方を美しい緑に囲まれた静かな環境は、学習に最適な心落ち着ける空間です。実学教育をサポートする充実の施設・設備には、他校にはない専門的な機材もたくさん。次々に生まれる「なぜ?」「知りたい!」を待っています。



中学用施設

高校と同じ敷地内に、中学生だけの専用校舎を完備。アットホームな雰囲気の中、のびのび活動できます。



高校共有施設



制服紹介 Uniform

さわやかな水色が印象的な清潔感のある制服です！



令和3年度より新たなスクールバッグを導入し、令和4年度よりジャージをリニューアルしました。また、女子のスラックス選択制を導入する予定です。

「なるほど!」「まず、やってみよう!」



豊かな自然環境の中で、生徒たちは、元気に明るくのびのびと学園生活を満喫しています。

「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』」の育成を目指す―この教育方針実践に向けて、「農大三中、次のステージの幕開け」というキャッチフレーズのもと、農大三中は教育改革に取り組んでいます。「大胆なグローバル化」「実学で真の力を育てる」「学内完結型学習体制」が改革の3本柱です。外国人留学生との交流会・語学研修・オンライン英会話など英語力を高める豊富なメニュー。ダイズ栽培から味噌づくり体験と観察データの集積・分析そして発表、魚（ヒラメ）の養殖研究と発表、北海道修学旅行での新巻き鮭づくり体験など、「本物を見て触れて考える」というさまざまな体験型学習の機会に溢れています。論理的思考力を高めていく場として、「論理の時間」なども展開しています。大学現役合格にむけて、外部のチューターによる放課後・帰宅後の自立学習支援システム(EdOM)を導入しました。

広大なキャンパスでの生活、グローバルな視点での体験、一人ひとりの生徒に向き合い、寄り添う教師陣に囲まれながら6年間を積み重ねていきます。「なるほど!」と心を動かす授業を通して、「まず、やってみよう!」という主体的な学びの姿勢を構築し、「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』」に皆さんを育てます。



東京農業大学
第三高等学校附属中学校
校長

神山 達人



受験生・保護者対象説明会の詳細はこちらからアクセス!

※ご来校時は、上履き・スリッパ等をご持参ください。

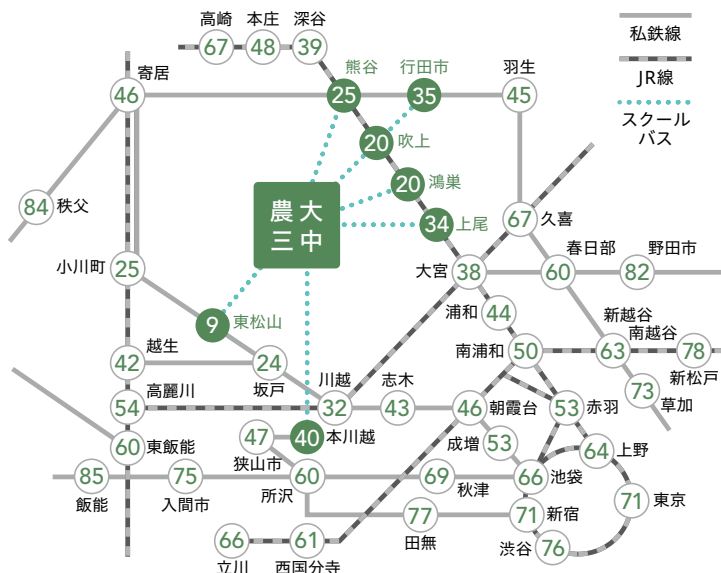
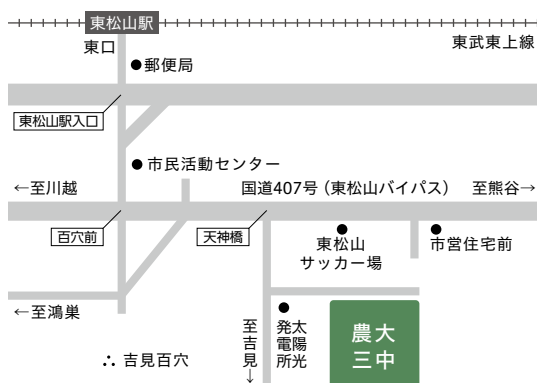
※本校開催のみ当日はスクールバスが運行されます。車でのご来校はご遠慮ください。バスダイヤは日程が近づきましたらホームページ等でご確認ください。



通学範囲・交通アクセス

先輩たちの通学範囲と在籍者数

熊谷市 19人	鶴ヶ島市 4人	久喜市 1人
さいたま市 14人	川口市 3人	日高市 1人
川越市 14人	羽生市 3人	新座市 1人
東松山市 13人	加須市 3人	吉見町 1人
鴻巣市 9人	小川町 3人	寄居町 1人
上尾市 8人	滑川町 3人	嵐山町 1人
深谷市 7人	本庄市 2人	三芳町 1人
桶川市 7人	北本市 2人	東京都 19人
朝霞市 7人	所沢市 2人	千葉県 3人
坂戸市 6人	志木市 2人	神奈川県 2人
和光市 5人	伊奈町 2人	群馬県 1人
行田市 5人	蓮田市 1人	
ふじみ野市 4人	蕨市 1人	
富士見市 4人	狭山市 1人	
		合計 186人



スクールバス発着駅

- 本川越駅 ●東松山駅 ●上尾駅 ●鴻巣駅
- 吹上駅 ●熊谷駅 ●行田市駅

※1. 数字は、駅から学校までの所要時間を表示しており、乗り換え、待ち合わせ時間は含まれておりません。

※2. 上尾駅34分は、鴻巣駅経由の所要時間であり、上尾駅直通のスクールバスを利用した場合、学校までの所要時間は約50分となります。なお、上尾路線は令和6年度以降、見直しを検討しています。



東京農業大学第三高等学校附属中学校

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山1400-1

TEL: 0493-24-4611 <https://www.nodai-3-h.ed.jp>



学校HP



公式Twitter



学校長公式Twitter